

郷づくり地域別ヒアリング整理表【委員抽出後】

資料3

	A列	B列	C列	D列	E列	F列	
番号	情報の入手手段 1：地域視察 2：事前ヒアリング	質問内容	協議会からの回答・意見	性質	分野	地域	計
1	1	①地域特徴・それを活かした取組み	市からの交付金も協議会で得た事業収入も、ひとつの会計にまとめる仕組みになっており、監査などで使い方などについて指摘を受けることとなるため、自分たちのお金を自由に使えなくなってしまう。これは今後の検討課題であると考えている。	問題	交付金	神興東	6
2	1	⑥その他（交付金の配分）	（市からのやらされ感を感じているものの中で）一番大変なのは、自治会交付金である。以前は協議会を通じてではなく、自治会に直接交付していたようである。自治会からは「なぜ協議会を通じて交付されるのか」という声が聞こえてくることもある。各自治会によって金額が違うので、その説明も大変である。交付金の配分や計算が大変である。	問題	交付金	上西郷	2
3	1	⑥その他（交付金の配分）	（柔軟な予算配分ができる制度は）あってもいいのかもしれないが、自治会交付金は協議会が交付するものではないと思っている。地域で柔軟な予算配分ができるということは、協議会でさじ加減していいと捉えることもできるが、さじ加減はできず、計算通りしかできないのであれば市からでもいいのではないか。決まった金額を協議会から各自治会に渡すなら良いが、協議会で計算までしてというのはネックになっている。	問題	交付金	上西郷	2
4	1	⑥その他（交付金の配分）	協議会で交付金のさじ加減はできないと思う。各自治会に渡す交付金には計算方法がある。畦町は畦町祭りがあるので10万円増やそうといったようなことはできない。	問題	交付金	上西郷	2
5	1	⑥その他（地域予算制度）	各自治会への配分まで協議会で果たして決定できるだろうか。例えばここはお祭りを頑張っているので10万円プラスで、ここは何もやっていないので10万円マイナスのようなことができるだろうか。そのようなことは難しいと思う。	問題	交付金	上西郷	3
6	1	⑥その他（交付金の配分）	事業に応じて各部会に予算を調整して配分している。それでも足りないなら協議会の本部から、少し部会に配分しようということはあるが、自治会に渡す交付金をある程度さじ加減をもって増減させるのは、言い訳が立たないので難しい。	問題	交付金	上西郷	2

7	1	⑥その他（交付金の配分）	自治会に交付金を出す基準を作るのも難しいと思う。それではどこまでしたら出すのかということも難しいし、それならうちも頑張ろうかということになればいいのだが、出し始めたばかりがなくなってくるように思う。交付金については各部会で考えてくださいということにしかならないのではないかと。	問題	交付金	上西郷	2
8	1	⑥その他（交付金の配分）	（協議会から自治会に交付した後の残額は）各部会に渡してぎりぎりなのではないだろうか。ほとんど残っていないのではないだろうか。	問題	交付金	上西郷	3
9	1	⑥その他（交付金制度）	（自分たちで稼いで）収入が増えたら、余剰金は市に返さなければならないという、運用の難しさはある。	問題	交付金	上西郷	3
10	1	⑥その他（防災について）	市は防災士を養成しようという方針を持っているので、交付金から防災士の研修費用を出そうかという話があったが、「防災士は個人に付く資格だから」ということで、交付金の中から出すのは適当ではないという判断があった。3～4人で研修に行くときに、研修費用として資料代が1万円ほどかかるが、協議会としては資料代が出せないためバス代を出すにとどまった。	問題	交付金	福間南	3
11	1	⑥その他（行政への改善要望）	いろいろな活動が広がっているが、活動が広がっていくことは結果的にいろいろな面で費用がかさんでしまう。費用面に関して他の地域でも声が挙がっているのだが、8つの地域の中で世帯数、人口共に一番多いのが福間地域である中で交付金の配分方式が頭打ちになってしまっているということが一番大きな問題である。	問題	交付金	福間	3
12	1	⑥その他（行政への改善要望）	交付金の積算根拠の一つに自治会数×12万円というものがある。人口が少なくても自治会数が福間より多ければ、その郷づくり地域の交付額の方が多くなる。これは最初から疑問を持っている。	問題	交付金	福間	4
13	1	⑥その他（行政への改善要望）	いろいろな行事を皆で人を集めて協力してやっているのだが、当然お金がかかってくるので協議会の予算だけでは不足してしまう。そのため、自治会に配分する交付金の一部を事業費として協議会に配分している。これからもっと事業を進めていくためには、自治会交付金の減額がさらに必要になるが、それは自治会側としてはとても困ることになる。	問題	交付金	福間	3
14	2	⑨地域や活動上の困りごと・課題	最大の困りごとは、8地域中最大規模の人口&世帯数を有し、活発な郷づくりの活動を行っているが、交付金の算定基準が人口規模に見合ったものとはなっておらず、慢性的な活動資金不足に陥り、活動が制限されていることである。助成金や他団体との協働など努力してもなお不足している。活動の担い手の世代交代や広がりはまだ不足していることが課題である。	問題	交付金	福間	3

15	1	⑥その他（行政上の壁）	市は交付金なのでどんどん使ってくださいというが、協議会としては無駄なお金は使いたくないし、せっかく使うなら有効に使いたい。余らせることで次年度に使えるのであれば万々歳なのだが、交付金をいただいでいてそれができないのが一番悔しい。有効に使いたいと思っても有効に使えない。残ったお金が100万円を超えたら、市に返さないといけないのであれば文具でも何でも買ってしまおうということになるので、結局無駄使いをしていることになる。そうではなくて、残したお金が120万円や150万円になると今後の事業にこれだけ使える、このようなことに取り組みるといことができるのに、そのようなことができないのが悔しいことである。	問題	交付金	神興	4
16	1	⑥その他（地域予算制度）	役員やスタッフのかたに費用弁償をお渡ししているのだが、他の協議会に比べてかなり抑え込んでいる。それは多くの皆さんがボランティア精神を発揮して活動されているという捉え方もできるのかもしれないが、この辺りを何とかしたいと考えている。各協議会にも役員の費用弁償や、交付金をどのように使っているかお尋ねをしたら福間は相当低く、それは是正していきたいと思っている。	展望（希望）	交付金	福間	2
17	1	⑥その他（地域予算制度）	協議会で自治会交付金も含めて、交付金の配分を扱えるということは知らなかった。それはもう少ししっかり説明してほしい。	要望（意見）	交付金	上西郷	3
18	1	⑥その他（地域予算制度）	A自治会の交付金を増やしてあげようとなったら、B自治会の交付金を減額しなければならなくなる。そのようなことが起きることも考えてほしい。	要望（意見）	交付金	上西郷	2
19	1	⑥その他（地域予算制度）	例えば100万円という自治会交付金の枠があれば、その枠内だけで交付しているとうことである。行事をしているから追加しているところもないと思う。逆に市の方から「このようにしてはどうか」と提案してもらったらいいのではないだろうか。	要望（意見）	交付金	上西郷	2
20	1	⑥その他（地域予算制度）	協議会が各自治会に交付金を配分して交付することにメリットはない。	要望（意見）	交付金	上西郷	2
21	1	⑥その他（交付金制度）	交付金は個人に入るわけではなく地域の皆のお金であるし、食べたり飲んだりするわけではないので、そこは改善してほしい。	要望（意見）	交付金	上西郷	2
22	1	⑥その他（防災について）	防災士について勉強しようと思った時に、それを次の人にもつないでいくには経費が必要になるが、市からストップされる。防災士研修は交付金から参加費を出すことはできない。一方で防災について考えるように言われる。そのため「考えたくてもできない」というジレンマに陥る。	要望（意見）	交付金	福間南	2

23	1	⑥その他（郷づくり制度）	福津市は任せるという割にはお金の使い方で「これはだめだ」という指示があるが、もう少し密に連絡を取り合うことが大事なのではないかと思う。	要望（意見）	交付金	福間南	2
24	2	⑩その他（自由意見）	イ 郷づくり間の交付金に格差がありすぎ(早急に是正を) *算定基準が矛盾していて不公平 不公平に関する資料はいつでも提出できます。	要望（意見）	交付金	福間南	4
25	1	⑥その他（行政への改善要望）	以前、市に嘆願書を提出したこともあるが、公平な交付金の配分をしてほしい。交付金の制度疲労が来ているので、その辺りを見直してほしいのが協議会の意見である。	要望（意見）	交付金	福間	4
26	1	⑥その他（行政への改善要望）	（交付金の算定基準に疑問を持っており、12万円×自治会数という算定式は人口が少なくても自治会数が多ければ交付額が多くなる。このように）以前は直接市から自治会へ交付金が交付されていたが、郷づくりに移行してその時の名残を引き継いでいるということはある。	要望（意見）	交付金	福間	4
27	1	⑥その他（行政への改善要望）	青少年育成に関する交付金の配分についても福間と他の地域を比べると、子どもの数が少ないので一人当たりの予算が倍くらい違うところもある。福間は子どもの人口が多く交付額も頭打ちになっている。このような配分の不均衡を改善いただきたい。	要望（意見）	交付金	福間	3
28	1	⑥その他（地域予算制度）	自治会負担金は「地域で負担しよう」ということで拠出しているもので悪いことではないが、そのような現状があるので、行政サイドで「それはちょっとおかしいよね」ということでアドバイスなどがあればいいが何もない。このことについては、行政がもう少し強くなってもらいたい。「交付金はこのように使ってください」としっかりリードしてほしい。そうしないと私たちが声を出しても総額がそうであっても「これでは困る」というところが出てきてしまう。協議会も声を出す、行政でもしっかり受け止めてジャッジしてほしい。	要望（意見）	交付金	福間	2
29	1	⑥その他（地域予算制度）	やはり基本額の算定根拠を不均衡がないように整えてほしい。自治会数だけでしてしまうと、世帯数が多ても自治会数が少ない地域は不利になってしまう。「福間がまた同じことを言っている」と捉えられるかもしれないが、切実な問題であると受け止めてほしい。	要望（意見）	交付金	福間	4
30	2	⑩共働推進会議に期待すること	地域予算制度による郷づくりの交付金の算定基準は、現状3,500世帯以上、15,000人以上の地域に非常に不公平な基準になっているため、SDGs未来都市を目指す観点から、どの地域にも公平な算定基準となるよう見直していただき、公平な予算配分による郷づくり活動の更なる活性化につなげていただくことを期待したい。	要望（意見）	交付金	福間	4

31	2	⑪その他（自由意見）	地域予算制度による郷づくりの交付金は、1例として、「基礎事業費」の内「協議会規模加算」は3,500世帯以上は同額に設定され、3,500世帯以下の地域のような1,000世帯単位での反映がありません。また「自主事業費」の内「青少年育成事業費」も青少年2,000人以上は同額に設定され、2,000人以下の地域のように500人単位での反映がありません。「その他事業費」（環境・防犯・地域振興）では15,000人以下の6地域は500人及び1,000人単位で反映されていますが、15,000人以上は同額に設定されているため、17,815人で7,739世帯の福間地域は、人口規模に見合ったものとなっていない現状があります。是正を願います。	要望（意見）	交付金	福間	4
32	1	⑥その他（行政上の壁）	先ほどもお話したが100万円の壁がある。100万円を超えると市に返金しないといけないのがネックになっている。繰越金が120万円や130万円になってくると次年度の計画が、今度はこのような事業をやってみたいということで資金を投入できるが、100万円の壁があるので頑張って残しても使えないということがある。繰越金が120万円や130万円になってくると次年度の計画が、今度はこのような事業をやってみたいということで資金を投入できるが、100万円の壁があるので頑張って残しても使えないということがある。100万円の壁は運営時のネックになるので、その壁をどうしても崩してほしい。	要望（意見）	交付金	神興	5
33	1	⑥その他（行政上の壁）	今の交付金を増やしてほしいというのはどこの協議会でも一緒かもしれないが、それ以前にそういう無駄な支出をしないで、皆で考えて使っているのだから交付金が100万円以上残ったとしても、市に返還することなく、協議会で自由に使えるようにしてほしい。	要望（意見）	交付金	神興	3
34	1	⑥その他（交付金についての課題）	交付金の問題については、事務局員の時間外手当の在り方に関する議論を市と行っているのですが、改善に向けて進んでいるのではないかと思います。事務局員の雇用経費として、交付金の中に180万円という枠があるのだが、10年近くその金額は変わっていない。土日の行事も多いし、夜間の会議もあるが、費用弁償ということでボランティアが参加した時の交通費程度しか支出できていかなかった。それはおかしいのではないかと思います。市に予算の増額をお願いしているところである。	要望（意見）	交付金	勝浦	3
35	1	⑥その他（交付金の使い方）	交付金の原資は税金のため制限があって当たり前であることは理解しているが、協議会に関わってみると交付金に制限をかけすぎると自主性が損なわれてしまうと感じる。自主財源を稼ぐ方法は少ないと思うが、制約を緩めると共に、地域の中でしっかり話し合ったうえで使途は協議会に任せるといった大きな転換も必要なのではないだろうか。	要望（意見）	交付金	勝浦	5
36	1	①地域特徴・それを活かした取組み	協議会の運営は交付金でほぼ100%まかなっているが、部会の収入もいくらかある。	事業説明	交付金	神興東	1
37	1	⑥その他（交付金の配分）	自治会交付金はその中から振り分けて、郷づくりについては別に交付されている。例えば全体で1千万の中から7割は協議会でその中から部会でも使いなさいということではなくて、1千万なら1千万が交付金になって、郷づくりは別になっているような気がする。	事業説明	交付金	上西郷	1

38	1	⑥その他（地域予算制度）	協議会の中でいろいろな仕事をしていくからといって、各自治会の交付金の配分を若干少なくするということはできない。	事業説明	交付金	上西郷	1
39	1	⑥その他（地域予算制度）	いろいろな事業をやっているから、拠出金を倍にしようかという話も出ている。具体的には世帯数×100円を各自治会から負担してもらっている。本来であれば協議会から自治会に交付される交付金を納めているような形になっていて、本当はそれも自治会で活用できる交付金である。市から算定根拠を基に交付された交付金の中から、自治会に配分する際に調整し、自治会ごとに1世帯当たり100円を引いて配分している。全体の額としては80万円くらいになる。	事業説明	交付金	福間	1
40	1	⑥その他（交付金制度について）	交付金については今の活動内容に関してはまかなえていると思う。	事業説明	交付金	宮司	1
41	1	⑥その他（行政への改善要望）	交付金の使い勝手については行政からの「交付金とはこういうものだ」という考え方に基づいた認識を持っているので、大きな不満はない。	その他	交付金	福間	1
42	1	①地域特徴・それを活かした取組み	活動を続けていくにおいて必要な後継者が見つからないことや活動資金が不足している、活動拠点が狭すぎるといったいろいろな課題を抱えている。	問題	交付金・拠点・人財	福間	2
43	1	⑥その他（交付金制度について）	市が指定管理料をいただきながら運営をしていて、剰余金がそれなりに出てきている。ところが郷づくりがコミュニティセンターを運営しているにもかかわらず、その剰余金を郷づくりの方では使えないということになっている。この問題を何とかできないかなと思っている。	問題	交付金・市政	宮司	3
44	1	⑥その他（交付金制度について）	最初に指定管理を受けた時に郷づくりの会計と指定管理の会計は別個にしてくださいと議会から要望があったようだが、それで同じ郷づくりではあるが、指定管理側は指定管理料という形で法人として運営をしていて、本体である協議会は公益団体として交付金で運営をしている。それを一色単にしてしまうとどこまでが郷づくりの事業で運営しているのか、指定管理の剰余金を使って活動が大きくなった時に交付金にどのような影響が出るのかという細かい検証をしないとイケない。	問題	交付金・市政	宮司	3

45	1	⑥その他（交付金制度について）	指定管理者として何か別の事業をするために余剰金を使えば、通常の郷づくりとは別の立場として余剰金を使ったということが分かるが、一緒にしてしまうとどこまでが指定管理者としての立場なのか通常の協議会の立場なのか分からなくなってしまうので、そこを明確にするために市としても会計を分けていると聞いている。そここのところを明確にして基準を作る時期に来ているとは考えている。	問題	交付金・市政	宮司	3
46	1	⑥その他（地域予算制度）	交付金がないと協力しないということはない。独立性が強いというはあるが、協議会がこのようなことをしたいと言えば、各自治会からそれなりに協力してくれる。ただ、自治会同士の交流はまずない。例えば、睦町の祭りに各自治会長へ招待状が行ったり、神興神社の行事の招待状が行ったりすることはあるが、普段の交流はない。	事業説明	交付金・自治会	上西郷	1
47	2	⑧活動上の成果・地域の魅力	8つの郷づくりの中で唯一、広報紙の配布業務を継続して受託していて、追加交付金を受け取っている。	事業説明・成果	交付金・特徴	神興東	1
48	1	⑥その他（交付金制度）	自治会交付金は年に1度の事務で、その時期が大変である。自治会によっては「なぜ協議会から交付されないといけないのか」という意見を持っているところもある。「郷づくりはそんなに偉いのか」というところもある。	問題	交付金・理念	上西郷	1
49	2	⑪その他（自由意見）	□ 郷づくり活動が開始されてから、事務局員の待遇改善が全くなされていない(福津市郷づくり基本構想<平成30年3月>の郷づくりの今後の課題⑤の1.専任事務局員の業務内容の見直しや人件費増額など運営体制の強化と謳われているが、再三の要望にもかかわらず、全く改善されていない。早急に改善を)。また、年々、事務局員の仕事量も増えており、本来市がなさなければならない事務(環境美化運動の集計・報告や自治会への周知、選挙の立会人の選考と報告・その他)	要望（意見）	交付金・理念	福間南	3
50	1	①地域特徴・それを活かした取組み	4年前に交流センターができあがり、それまではイベントなどの事業だけを行えばよかったものが、施設の管理をしなければならなくなった。拠点ができただけで活動しやすくなったこともあるが、条例の縛りがあるため、やりにくさや煩わしさを感じることもある。なお、当協議会は郷づくり交流センターの指定管理者にはなっていない。	問題	拠点	神興東	3
51	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	拠点の使い勝手は交流センターができて良くなっていると思うが、若い人たちが使いたい土日は休みである。	問題	拠点	福間南	4

52	1	⑥その他（拠点について）	視察に来られてお分かりだと思うがこの部屋しかない。そのため何か2つのことをやろうとしても実施できない。部屋自体は仕切ることができるので、部屋を2つに分けて会議をしてみたが、音が漏れて会議にならなかった。	問題	拠点	福間	2
53	1	⑥その他（認知度に関する課題）	神興地域に住んでいる人にとっては、申し込み方法や使用料の払込が不便なので、地域の公民館の方を使おうということになる。このような地域なので、郷づくりの存在と自治会を考えると、自治会の比率が高くて郷づくりの方がなくても別に構わないという状況かもしれない。	問題	拠点	神興	3
54	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターの部屋は会議室として設定されているので、飲食と音楽に制限がある。音楽については、コンサートなどを開催しているが、近隣から苦情が出たら止めなければならない。また、アルコールなどは一切だめで、水場もないので調理もできない。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	4
55	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターは防災拠点になりえない。防災拠点の必須要件として情報が収集できることと情報を発信できることというものがある。その2点がない。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	2
56	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	展示会をしたいと思っても、大きな窓ばかりで壁がないのでできない。パネルもない。音響は良いし立派な施設だと思うが、使い勝手が悪い。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	3
57	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターは市の中央公民館と同じような管理になっている。そのため申込みするためには日にちの制約がある。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	3
58	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	協議会は施設を管理していることもあり、使用料については無料で使用できるが、自治会が使用する場合は半額、任意団体が使う場合は全額支払いになる。また、利用料は市に払い込まないといけない。その手続きが面倒だから窓口までは来るが、それなら結構ですということがよくある。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	4
59	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	条例や施行規則によって交流センターは決められた目的で使うということが規定されている。細かい部分までは条例などには出てきていないのだが、音楽についてはある程度制約があり、飲食については作って食べるということではできない。飲食は可能だが、飲み会などには使用できない。	問題・要望 (意見)	拠点	神興東	2

60	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	条例上は地域の交流や活性化のために使う施設となっており、それに準じると制約が出てくることはある。	問題・要望（意見）	拠点	神興東	2
61	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	一般の人は交流センターを平日午前9時から午後5時までしか利用できない。開館時間外は郷づくりの関係者や鍵の貸出ができる自治会しか利用できない。交流センターが交流を目的とした施設であるならば、目的を果たせていないと思う。	問題・要望（意見）	拠点	神興東	5
62	1	①地域特徴・それを活かした取組み	交流センターの利用方法については、協議会が儲かるのではなく、先生が授業料を得られることはいいのではないかと思うが、今後の検討課題だと思っている。	問題・要望（意見）	拠点	上西郷	3
63	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターを土日は開けて平日を休みにしてしまうと活動が止まってしまうので、そこを補填していく力を携えていくことが必要なのではないか。	問題・要望（意見）	拠点	福間南	2
64	1	①地域特徴・それを活かした取組み	元々上西郷幼稚園だった施設でこれだけ広い拠点があるのに、趣味の講座など営利目的の使用はできないということで、活動が難しい。	問題・要望（意見）	拠点	上西郷	3
65	1	①地域特徴・それを活かした取組み	いろいろな趣味を持っている人に場所の提供ができれば、郷づくりがもっと広まっていくのではないかと考えている。	展望（希望）	拠点	上西郷	2
66	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	月謝を取るような教室に貸し出すつもりはない。例えば地域に住んでいる人が、習字が得意なので交流センターで教室をしたいとなった場合、材料費程度のお金をもらって活動することは認めてほしい。	展望（希望）	拠点	上西郷	3
67	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	地域に住んでいる人が趣味でされているけど、場所がないということであれば、お花や踊りでも何でもいので教室を開く場所として貸し出ししてもいいのではないかと考えている。	展望（希望）	拠点	上西郷	2

68	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	地域の人が先生をする教室なら、材料費や先生の交通費くらいの授業料はあってもいいのではないかと考えている。教室の授業料もあまり高くすれば生徒は来なくなる。生徒さんも趣味程度の金額ではないと来ないと思う。	展望（希望）	拠点	上西郷	2
69	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	校区の中には集まりをしたい人もいると思うのだが、部屋も余っているので、一般利用で使えると言えば、利用を考えてくれると思う。そのような取組みで郷づくりをPRするのが一番早いと思う。極力、地域の人たちに貸し出して郷づくりについて知ってほしいと思っている。	展望（希望）	拠点	上西郷	4
70	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	郷づくりの事務局に人が5～6人いれば、シフトを組んで勤務ができるので、交流センターの運営も柔軟にできるのではないかと。	展望（希望）	拠点	福間南	2
71	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	柔軟な使い方ができるようになれば、もっと交流センターを積極的に使えるようになるし、若い人たちも利用できると思う。	展望（希望）	拠点	福間南	2
72	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターで趣味の講座をするときに問題になるのが場所代を取るかどうかだと思う。市からも交流センターはどこまでならお金を取っていい、取ってはいけない、どこまでならやっていい、やってはいけないということをしっかり示してほしい。最低限度のお金を取らないと先生もやってくれないと思う。	要望（意見）	拠点	上西郷	3
73	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	今は部屋がたくさん空いているのもったいない。交流センターの教室に地域の人々が来ることで、郷づくりについて知ってもらったり、関心をもったりしてもらうことにつながるのではないかと。	要望（意見）	拠点	上西郷	2
74	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	市も柔軟になってほしい。こうしたいと思ってもそれはだめだと言う。もう少し地域の人々のことも考えてほしい。	要望（意見）	拠点	上西郷	2
75	1	⑥その他（郷づくり制度）	交流センターは地域の中心となる拠点だが、そこに関わる人材が何ら増員されていない。例えば若い人たちが拠点をしたいということになれば、土日を閉館して平日を休館にするといったように、積極的に地域の人にセンターを利用してもらうといいのだが、それができないということは、スタッフの増員ができない、予算がないなどのいろいろな制限があるからだと思う。	要望（意見）	拠点	福間南	4

76	1	⑥その他（施設の使い勝手）	各自治会に公民館がある中で、地域住民がここを使うということは難しいと思うのだが、申し込み方とか使用料の払い方は変えてほしい。銀行でしか使用料を納められないとか、郵便局では払えない、ネット振込もできないというのは、交流センターと言っているのであれば利用の仕組みなどは今の時代に合わせて変えていてほしい。	要望（意見）	拠点	神興	5
77	1	⑥その他（施設の使い勝手）	交流センターで飲食ができないということも変えてほしい。今はコロナ禍だが、やっぱり人は一緒に飲み食いをするので打ち解けていくので、サロンなどをする時も飲食があると話も弾むと思うので、そのような改善してほしい。	要望（意見）	拠点	神興	5
78	1	⑥その他（認知度に関する課題）	今もあみずの里市の買い物支援をしているが、東福間中央公民館はこの7つの自治会が運営している公民館で11年前に建て直したのだが、ここは管理人さんもいてほとんど開いているので、サークル活動などの利用率もものすごく高い。まさに市がイメージしているような郷づくり交流センターの役目を果たしていて、それなりの収益を上げて、管理人さんを雇っているような状態である。このような状況なので、神興地域は交流センターを利用する必要がない。	地域特性	拠点	神興	2
79	1	⑥その他（施設の管理）	私たちとしては自由にここを使わせてもらっている。一般利用がほとんどなく、協議会で自由に使わせてもらっているので、有効利用ができていない。そういった意味では行政に対して不満はないし、これだけの施設を私たちに預らせてくれているのは大変助かるし、ありがたいと思っている。	地域特性	拠点	神興	2
80	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	施設が柔軟に運営できるように市の職員を事務局員として配置し、郷づくりの職員のような立場で地域と一緒に動けるような人がいればいいのではないかと。上記のようなやり方で人材を増やしていき、地域の人とも多く触れ合えるような仕組みがあるといいのではないかと。	要望（意見）	拠点・人財	福間南	2
81	1	①地域特徴・それを活かした取組み	協議会は設立から11期目を迎え、熱心に活動に取り組んでいると思うが、若い人が少ないという課題がある。	問題	人財	神興東	3
82	1	①地域特徴・それを活かした取組み	イベントの参加者は多いが、活動の中心となって企画運営する人財が少なく、特定の人だけが活動し「固定化」が進んでいる。	問題	人財	神興東	4
83	1	①地域特徴・それを活かした取組み	若い世代が多い団地からは仕事が忙しいので、なかなか郷づくりの活動に参加できない。	問題	人財	神興東	2

84	1	⑤新しい取組の必要性	私たちは高齢者で活動が難しくなっているが、若い人たちが活動についてこない。私も世代交代が必要と考えているが、なかなか実現できない。	問題	人財	神興東	3
85	1	⑤新しい取組の必要性	ぜひそのような（若い人が企画運営に携わったり、地域に興味を持ったりすることで後継者育成につなげる）ことはやっていきたいが、案ができていない。	問題	人財	上西郷	3
86	1	⑥その他（自治会活動）	私は転入してきた時にPTA役員や消防団加入の願いをされたが、本当はやりたくない気持ちもあったが、今までずっと地域の活動をやってきた。今の若い人は地域の活動をしてほしいと言えば、やめたくなるのかもしれない。	問題	人財	上西郷	2
87	1	⑥その他（郷づくり活動）	自治会未加入者に郷づくりの活動に参加してもらうためには、未加入者の家を1軒1軒回っていかなければならない。	問題	人財	上西郷	2
88	1	①地域特徴・それを活かした取組み	70歳まではほとんどの人が仕事をしているので、協議会のメンバーもほとんど仕事をリタイアした人で、なかなか若い人が協議会に入ってくることは難しい。	問題	人財	津屋崎	2
89	1	①地域特徴・それを活かした取組み	各部会についてもメンバーが減っているため、これについても手立てを講じる必要があると考えている。	問題	人財	津屋崎	2
90	1	⑥その他（郷づくりの人材）	活性化部会長として郷づくりに関わって3年目になるが、現実問題として高齢者が中心に活動しており、若手と言っても60歳以上で、仕事をリタイアした人になる。	問題	人財	津屋崎	2
91	1	⑥その他（郷づくりの人材）	小中学生が松林の応援や祭りの手伝いに来てくれるが、肝心の定年前の世代を活動メンバーの中で見たことがない。小中学生は松林の清掃にも来てくれるし、お祭りの手伝いにも来てくれる。おもいっきり若い人は活動にも関わってくれるが、定年退職するまでの真ん中の世代、実働できる世代が活躍する仕組みが郷づくりにはないのかもしれない。	問題	人財	津屋崎	3

92	1	③若い世代との交流 (意見交換)	子育てサロンの担い手については、若いお母さんたちをお願いしているが、仕事の関係もあるので、月に3回あるうちの1回でも構わないというように緩い感じで参加していただいている。「子育て支援は大切だ」という話にはなっているが、現実的には難しい環境でもあり、担い手を探すのは難しいと感じている。	問題	人財	福岡	3
93	1	⑤新しい取組の必要性	基本構想の見直しと言うことで、今後の5年間を見据えてどうするかということになると思うが、地域の自治活動というものは団塊の世代の人たちによって支えられている。それが5年間経つと、ごろっと変わってしまうと思うので、現在は過渡期にあると思う。	問題	人財	宮司	4
94	1	⑥その他(郷づくりの 世代交代)	世代交代についてはどこの郷づくり地域もそうだと思うが、それが課題になっている。	問題	人財	勝浦	2
95	1	⑥その他(郷づくり体制)	地域の過疎化が随分進んでいる。そのため、郷づくりの一番の課題は、運営委員の中の役員のうち10数名が固定化されていて、年齢を重ねてリタイアすると、役員の数も減っていくことである。自治会長を経験した人のうち、やる気のある人が数年に1度協議会に入ってくれることもあるが、このように老人力も低下していったという現状がある。	問題	人財	勝浦	2
96	1	⑥その他(郷づくり活動)	新しい人に協議会に入ってもらいたいが、自治会長を交代しても、再雇用などで働く人や家業である農業が忙しいという人も多く、協議会が年配者の集まりになっている。	問題	人財	勝浦	2
97	1	⑥その他(将来の郷づくり)	(10年20年後の高齢化や担い手減少を見据えて) 解決策があれば、こちらの方からお尋ねしたい。昔のようなピラミッド型や逆ピラミッド型のように段階的に人口が減っているのであれば分かりやすいが、私たちの世代になるとガクンと人口が減っている。自治会の役員もここまで年齢が下がったらもう一回りしないといけないという話が出ているし、小さな集落ですでに自治会長を3回経験したという人もいる。そのように人口がどんどん減っている中で、担い手をどう探していくのかという大きな課題がある。	問題	人財	勝浦	2
98	1	⑥その他(行政への要望)	担い手の不足・高齢化・固定化は非常に難しい問題でもあることを理解している。郷づくり活動が始まった時もそうだった。郷づくりの取組を進める時に目標にしたのが、鹿児島県のやねだん地域で、それを目指して頑張ってもらいたいということで地域のかたがたにもお話ししていた。勝浦でも公民館長をされていたかたにお越しいただき、いろいろなお話をいただいた。やねだん地域の公民館長のかたは「地域づくりの主役は住民ではある。人を大切にしないと地域づくりはうまくいかない」とおっしゃった。その他にも「住民のかたがたにとって身近でメリットのある活動にしないとけない」「住民の郷づくりへの関心を高めることが必要である」「ボランティア活動だけでは限界があると思う。自分たちが活動してみても充実感などがなければ、活動は続かない」という話があった。館長のかたのお話を聞いて、全くそのとおりであると感じたと共に、これを実現していくことはかなり難しいと感じた。	問題	人財	勝浦	3

99	2	⑪その他（自由意見）	各郷づくりの役員選考の基準が無い。新しい人材を見つけられる方法があれば。	問題・展望 (希望)	人財	神興東	3
100	1	⑥その他（地域のネットワーク）	自治会も定年が延長になって自治会長なども次の人が見つからず選ぶことが難しい状況になっている。その中でどう若い人を育成していくのかというと、どうしても困難性が伴うと感じてしまう。一方で、自分たちの要求だとか困っていることなど、そのような視点を持って集まることは有効である。ただ、その場にかけるだけではだめなので、とにかくいろいろな形で人に参加してもらおうなど、ネットワーク型の仕組みで取り組んでいかないと人は集まらないと思う。	問題・展望 (希望)	人財	宮司	4
101	1	⑥その他（郷づくり制度）	協議会活動をするための戦力は人材だと思う。人材育成をどのように行ってきたのか、10年間で市がどのような地域づくりをしてきたのかという時に人材を確保してきたのかということが大きな問題なのではないかと考える。今後、もっといろいろな要求が出てくると思うが、人材バンクをどうするのかという問題がある。	問題・要望 (意見)	人財	福間南	3
102	1	⑥その他（郷づくりに関わったきっかけ）	体操や子育てサロンに参加したことがきっかけで活動に参加されたかたもいる。声を掛ける時にやってくれるような人を見つけるという工夫もしている。特に子育て世代のかたは、活動に参加しないか声を掛けると距離を取られてしまうことがある。	成果・問題	人財	福間	2
103	1	⑥その他（役員候補の見つけ方）	役を引き受けたら「3年後はこの人にしてほしい」という人がいたら、そのことを伝えていくことが大切だと思っている。役を引き受けたら、次の人に伝えながら、その人に組織の中で活躍してもらい、皆が認める人になっていただけると良いのではないかと考えている。それがなければ組織として動きにくいのではないかとと思う。	展望（希望）	人財	福間南	2
104	1	⑥その他（郷づくりの人材）	活性化部会は20人程いるが、高齢者ばかりというのが現実であり、若い世代が入ってくる仕組みを委員の皆さんと話し合っていきたい。	展望（希望）	人財	津屋崎	3
105	1	⑤新しい取組の必要性	先ほどもお話があったが「ボランティアをしたい」「何かをしたい」ということはよく言われるようであるが、そのような声を拾い集めるということは、郷づくりでは難しいと思う。したがって行政の中にきっかけラボがあったりするので、そういったかたがたとの情報交換をしながら力を借りる「借り方」ということをやらないといけなと考えている。それがマンパワーに関する取組みだと考えている。	展望（希望）	人財	宮司	5
106	1	⑥その他（子育て支援活動についての思い）	小学生や中学生、高校生、大学生でもいけれども子どもの人材バンクを作っていけたらいいのではないかと考えている。例えば大学生が夏休みに帰省した時に勉強を教えるなど、そのような取組みができればいいのではないかと考えている。	展望（希望）	人財	神興	4

107	1	⑤新しい取組の必要性	協議会として若い人の力は必要だと考えている。	展望（希望）	人財	神興	3
108	1	⑥その他（若い人との関わりに期待すること）	私たちのアイデアはもう枯渇していると思う。若い人にはどのようなアイデアがあるのかも分からないし、地域でどのようなことをしたいのかも分からないので、そのような話は聞いてみたい。そのような場で「それは良い考えだ」ということに辿り着くかどうかは分からないが、そのような話を聞いて、それを郷づくりでやってみませんかということを期待している。	展望（希望）	人財	神興	3
109	1	⑥その他（若い人との関わりに期待すること）	神興地域以外に住んでいる若者との関わりもウエルカムである。	展望（希望）	人財	神興	2
110	1	⑥その他（住民アンケート）	郷づくり計画を作る時に地域住民にアンケートを行い、世帯の3割ぐらいが回答してくれた。アンケートを通じて「郷づくりがある」と分かっている人や「活動に参加してみてもいいかな」と思っている人はある程度いるのが分かった。活動に参加することに敷居が高く感じるのであれば、工夫することで人を増やせるのではないかと気づきがあった。	事業説明・成果・展望（希望）	人財	神興東	2
111	1	⑥その他（市の関わり）	以前は部長を経験された人が郷づくりに配置されていたことがあったが、一緒に動けるメンバーだったらとても良いのではないかなと思う。	要望（意見）	人財	福間南	2
112	2	⑩その他（自由意見）	二 市職員のOBの参加が非常に少なく、行政の経験を活かせていないのはもったいない。	要望（意見）	人財	福間南	2
113	1	⑥その他（郷づくり活動）	部会員を集めることは難しく、逆にどうやって集めたらいいのか、どのように郷づくりを認識させたらいいのかお聞きしたい。	要望（意見）	人財	津屋崎	2

114	1	⑥その他（郷づくりの人材）	地域には商工会青年部のような人たちもいると思うが、津屋崎には地味な人や人前で話すのが苦手な人が多かったり、何かを言うとガツンと言われるなど悪しき習慣があったりする。しかし、まちを良くしようということに対して共感を持っていると思うので、そのような人たちが活動に関われるような仕組みを作っておくべきではないかと思う。	要望（意見）	人財	津屋崎	3
115	1	⑥その他（行政への改善要望）	どこの郷づくりでも問題になっていると思うが、後継者の育成という課題がある。若い人が飛び込んでくることはないし、それは非常に困っている。後継者がいないと活動の刷新が難しく、同じことの繰り返しになってしまう。若手のバリバリの人に入ってきてほしいが、そのような人は仕事を持っていたらなかなか参加できない。一番の狙い目は定年間際の人なのだが、一長一短ですぐに飛び込んでくれるというわけでもないで、その辺りにヒントをいただけたらありがたい。	要望（意見）	人財	福間	3
116	1	⑥その他（地域のネットワーク）	団体に関する情報は協議会で収集する必要もあるのかもしれないが、まずは行政から情報を出していかないといけないと思う。個人的にはその点の福津市の取組みについてはどうなのかなと常々感じている。	要望（意見）	人財	宮司	3
117	1	⑤新しい取組の必要性	福津市が立ち上げた未来共創センターとの連携も絶対に必要だと思っている。事務局員の一人が、未来共創センターのバスクールの発表会を聞きに行ったそうで「何かをやりたいという人はいる」「やりたいことによっては自治会などでもできる」と感じたとお話されていた。	要望（意見）	人財	神興	4
118	1	⑥その他（役員候補の見つけ方）	運営連絡会で推薦するというにはしているが、実質は一本釣りをお願いしている。知っている人で適任だと思う人をお願いしており、どこも一緒だと思う。	事業説明	人財	福間南	2
119	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	広報部会のメンバーは「健康福祉」「子育て支援」「安全安心」「環境景観」部会から1名ずつ選出いただき、あとは自分から入りたいと手を挙げた人である。活動を通じて自然に広報部会に入った人もいる。	事業説明	人財	福間	2
120	1	⑥その他（未来の人材の蓄積）	未来会議等の参加者に次のイベントを呼び掛けることはあったが、LINEでつながりようなことはしていない。	事業説明	人財	福間	2
121	1	⑥その他（ボランティアの関わり）	地域の役などに関わらず、手を挙げて参加してくださっているかたもいらっしゃる。ほとんどがそのようなかたで、特に固定化されている人は手を挙げて参加されたかただと思う。	事業説明	人財	勝浦	2

122	1	⑥その他（郷づくり地域以外の人との関わり）	事業によっては勝浦以外の人たちの協力が必要かもしれないが、今は勝浦地域内の人を対象にしている事業なので、現時点で必ずしも必要というわけではない。	事業説明	人財	勝浦	2
123	1	⑥その他（郷づくりに関わったきっかけ）	郷づくりの取組みの前身である「わがまちづくり」の時に子育てサロンを始めるので、ちょっと手伝ってほしいとお声掛けがあった。その時に「ちょっとならいいかな」と思い参加し、今に至る人がいる。	成果	人財	福間	2
124	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	意外と郷づくり活動に参加している人は、もともと上西郷地域に住んでいなかった人の方が多い。しがらみがないので参加しやすいようだ。	地域特性	人財	上西郷	3
125	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	地域には農家も多く、高齢になっても仕事をしている人が多いので、時間がなく、行事に参加される人も少ない。	地域特性	人財	上西郷	2
126	1	⑥その他（郷づくりの人材）	昔は青年団など地域の組織があったが、現在は消防団しか残っていない。昔は長男しか消防団に入れなかった。今は消防団の人数が減っているのでそのようなことはない。消防団員が足りないので、上西郷と内殿、本木と畦町の分団が統合した。自治会に加入していない人は消防団には入っていない。	地域特性	人財	上西郷	2
127	1	⑥その他（郷づくりの人材）	商工会の副会長もしているが、商工会も協議会と同じように、活動の中心は高齢者になっている。しかし、商工会には青年部という組織があり、ここに若い世代が集まっている。商工会青年部のメンバーも歳を取ってきて、現在は40代までが青年部ということになっているが、仕事の合間を縫って様々な活動を行ってくれている。	地域特性	人財	津屋崎	2
128	1	⑥その他（郷づくりの人材）	若い人たちに参加してもらうためにはどのような取組みをしていけばいいのか、どうすれば魅力のある郷づくりになるのかということは非常に難しいと感じている。	問題	人財・活動	上西郷	2
129	2	③地域や活動上の困りごと・課題	部会会員の不足：各部会とも新規会員になり手が少なく全体として部会長の後継者不足により、事業がマンネリ化している部会も見受けられる。	問題	人財・活動	津屋崎	3

130	1	⑤新しい取組の必要性	マンパワーについては外部の力を借りながらやっていくと今取り組んでいることを今後持続可能な状態に持っていきけるのではないかと考えている。当面の間は取り組んでいかなければいけないことだと考えている。	展望（希望）	人財・活動	宮司	2
131	1	③若い世代との交流（意見交換）	プレーパークには「プレーワーカー」と呼ばれる若い人たちがスタッフとして参加しているのだが、小学生の頃、プレーパークで遊んでいた子どもたちが大学生になりプレーワーカーになって、今度は結婚してプレーパークに子どもを連れてくるという世代間に受け継がれていくという形ができていて、若い人たちが主体的に参加してくれている。	事業説明・成果	人財・活動	福間	3
132	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	上西郷地域の40%くらいは自治会に入っていないと思う。そのような人たちをどう取り込んでいくのが課題である。また、これは市の課題でもあり、どこの地域でも一緒ではないだろうか。	問題	人財・自治会	上西郷	2
133	1	⑥その他（自治会活動）	自治会活動の参加者は年配のかたばかりで残念ながら若い人はいない。若い人を誘うと「土曜日はゆっくりしたい」「子どもたちと遊ばないといけない」といった声が返ってくる。そうなると参加者は60代から70代の人になる。若いと言っても60前後で、80代の人がいることもある	問題	人財・自治会	上西郷	2
134	1	⑥その他（自治会活動）	年配者から言われて加勢してくれる人はいるが、自主的に参加してくれる人はあまりいない。私たちが若い時は日曜日になったら地域の活動に参加しなければならぬと思っていた。	問題	人財・自治会	上西郷	2
135	1	⑥その他（自治会活動）	最近は自治会に入っていない人が増えている。特に若い人は「自治会に入ること何のメリットがあるのか」とギブアンドテイクを要求してくるので、メリットがないと感じると自治会には加入しない。また、組長が回って来るのが面倒なので自治会に加入しないこともある。	問題	人財・自治会	上西郷	2
136	1	⑥その他（役員候補の見つけ方）	協議会と同じような状況が自治会にもある。自治会も役員のなり手がない。	問題	人財・自治会	福間南	2
137	1	⑥その他（役員候補の見つけ方）	今年ある自治会でなかなか自治会長が決まらず、自治会長をお願いしたら、20軒くらいが自治会を脱会したということもあった。自治会だけではなく、他の団体についても会長をするなら辞めるという話をよく聞く。	問題	人財・自治会	福間南	2

138	2	㊸地域や活動上の困りごと・課題	すべての組織(自治会・子ども会・老人会・民生委員等)において、役員や部会員等を引き受ける者がいなくて大変苦慮している(高齢化・人材不足・所属意識の低下等)。このままでは、郷づくり活動の存続が危ぶまれる。	問題	人財・自治会	福間南	4
139	1	㊸その他(将来の郷づくり)	各自治会では少ない人数の中で役員を回していく必要があり、しかも仕事もしているというかたが多いので負担が掛かっている。	問題	人財・自治会	勝浦	3
140	1	㊸その他(役員候補の見つけ方)	自治会も役員の選考委員会があって、そこから案内を出したとしても誰も手を挙げることはない。だから最後はお願いをしに行くしかない。逆にいい方法があれば教えてほしい。	要望(意見)	人財・自治会	福間南	2
141	1	㊸その他(役員候補の見つけ方)	自治会長の時に行事を手帳に書いていくと年間250回くらい出ごとがあった。自治会長は大変なのだが、頼む時には皆できるとしか言わない。私は次の人に自治会長をお願いする時に200回以上、出ごとに出たことは伝えた。それでもあなたに受けてほしいと、最後は口説くしかない。	事業説明	人財・自治会	福間南	2
142	1	①地域特徴・それを活かした取組み	自治会から選出いただいている部会員については、出席率が思わしくない、任期の1年が終わるとなかなか残っていただけないという悩みがある。そのため、任意の固定されたメンバーで部会の運営をしているという悩みがある。	問題	人財・体制	福間南	2
143	1	㊸その他(女性の割合)	女性の割合については、大変少ない。広報委員会では会長以下7名の中に事務局員を含めて2名の女性がいるが、部会長や副部会長等の役員には女性はおらず、運営委員の中に数名程度というのが実態である。	問題	人財・体制	勝浦	2
144	1	③若い世代との交流(意見交換)	世代交代が課題であり、また若い世代へのアプローチも課題である。他の協議会では子育て支援部会で子どもや保護者を対象にした事業を行っているが、勝浦は地域内の子どもの数が少ないため、子育て支援部会を設けず、活性化・交流部会の中に子育て部門を含めている。	問題	人財・体制	勝浦	2
145	1	㊸その他(女性参画)	自分(女性)が協議会に関わったきっかけは、もともと地域の高齢のかたと関わる機会があり、小学校のPTAを通して、地元とのつながりが強かったのが、協議会には入りやすかった。PTAの役員をしている時に、協議会の会長がよくお声掛けをさせていただいたので、役員になることに抵抗はなかった。知人から、協議会の役員になるには荷が重いと言われることがある。高齢者との関わりが少ない核家族の人には難しいところがあるかもしれない。	問題・その他	人財・体制	神興東	2

146	1	⑥その他（女性参画）	協議会の構成員として女性が少ないため、女性から意見を出しにくい時がある。難しいとは思わず、なり手不足の問題もあると思うが、役員の男女比などを決めてもらってもいいのかなと思う。実際の現場は女性が回しているという事実はある。ただ、役員になりたいと思っている女性は少ないという現実もある。	問題・展望 (希望)	人財・体制	神興東	2
147	1	③若い世代との交流 (意見交換)	令和5年度からは地域内の子ども会育成会が上部団体の津屋崎中校区の連合会から外れたので、子ども会部門を活性化・交流部会の中に設けて、協議会で子ども会に関する事業の面倒を見ていこうという方針を持っている。その中で子ども、保護者、郷づくりの役員など多世代の交流を持ち、保護者の中から郷づくりの活動に関わってくれるかを見出していきたいと考えている。	展望（希望）	人財・体制	勝浦	2
148	1	⑥その他（女性参画）	当協議会では会長が女性で、女性の副会長もいるが、私が関わり始めた頃は男性の役員しかいなかった。女性にも協議会活動に参画してもらおうということで、副会長に女性枠をつくった。それ以来、女性が部長になるなど、女性の参画が少しずつではあるが進んでいった。	成果	人財・体制	神興東	1
149	2	⑨地域や活動上の困りごと・課題	若い世代や、新しい入居者の自治会活動参加が少なく、高齢化が進んでいる。	問題	人財・特徴	上西郷	2
150	1	⑥その他（郷づくりの人材）	元々地域にいる人はあまり活動せず、他のまちから来た人たちの方が活動の手伝いなどをすることで、何か動き始めることが多い。	事業説明	人財・特徴	津屋崎	2
151	1	⑥その他（郷づくりの広報）	広報紙では、郷づくりの根幹に関わるようなことは周知できていないのが現状である。理想としては、広報委員会の中に若い人に入ってもらって、住民の人にもっと協議会の活動がアピールできるような工夫が必要だと考えている。広報紙を配布しても各地域で3分の2程度読まれていればいい方だというのが現状である。全部会からではないが、各部会から広報委員会に人を出してもらっている。自治会からの選出はない。	問題・展望 (希望)	人財・認知	津屋崎	2
152	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	広報紙を通じて活動を知っていただき、それをきっかけに新しい担い手にも入っていただきたいと考えて頑張っている。	展望（希望）	人財・認知	福間	2

153	2	㊟地域や活動上の困りごと・課題	若い世代の活動参加や後継者育成が課題である。そのため、アンビシャス広場やPTAとの連携を強化するために活性化部門の「マル勝まつり」や「マル勝イルミネーション」、「古墳群での花（コスモス、ソバ、彼岸花）いっぱい活動」などにおいて、アンビシャス広場の児童・保護者やPTA役員との連携を行い、郷土愛を醸成しながら、各活動・事業への参加を促している。 自治会長経験者は郷づくりの名前と活動は知っているが、経験者以外の住民は郷づくりの認知は低く、活動内容もよく知らない人が多いのが現状。 また、6自治会の自治会長が毎年1年で交代するため、市役所への申請や手続きに際しても不慣れなため、郷づくり事務局が申請手続きを補助しながら、各自治会の自治会長等の負担を出来る限り軽減するように心掛けている。手続等が分からない時には、まず郷づくり事務局に頼って来られる場合が多いようで、良い関係の中で郷づくり事務局は市役所の補完的な役割も担っている。 なお、役員の負担軽減のため定期的な役員会開催ではなく、案件がある時に不定期で役員会は開催するようにしている。	事業説明・問題	人財・認知・活動	勝浦	2
154	1	㊟その他（郷づくり地域以外の人との関わり）	期待するところは、市の未来共創センターが機能することで、地域内の人で勝浦に興味を持っているかたを協議会に紹介してもらって、一緒に活動するようになればと思っている。これは市の施策としてそのような仕組みを作ってほしい。そうすることでこの協議会も活用したいと思うのではないかな。	展望（希望）	人財・市政	勝浦	5
155	1	㊟新しい取組の必要性	後継者育成の取組みについては、勝浦だけではなく、協議会全体の課題だと思うので、まちづくりや地域づくりをやってみたいと思うかたを郷づくりにつなげるような仕組みを市の施策として取り組んでいく必要があるのではないかと考えている。	要望（意見）	人財・市政	勝浦	4
156	2	㊟共働推進会議に期待すること	様々な活動分野において「まちづくり」に関わるボランティアの方が、究極の地域づくり活動団体である「郷づくり推進協議会」につながり、共に汗を流して「地域づくり活動」に参加できる仕組みを確立させて欲しい。	要望（意見）	人財・市政	勝浦	4
157	2	㊟共働推進会議に期待すること	郷づくりが持続可能な組織であるために重要な事は何か。郷づくりと自治会その他地域と関わりがある諸団体、青少年指導員会、子供会育成会などの活動の整理や集約をすることにより役員の成り手不足の課題の解決。	要望（意見）	人財・理念	神興東	5
163	2	㊟地域や活動上の困りごと・課題	役員、部会員の高齢化、固定化。自治会からは隣組長が単年度の部会員として加入はするが、次年度も部会員で残る人はわずか。したがって長年活動している役員（高齢者）の意見が主体となる活動になりがちである。	問題	体制	神興東	1
164	1	㊟新しい取組の必要性	若い人は仕事でなかなか協議会活動に参加することができない。	問題	体制	上西郷	1

166	1	⑥その他（市の関わり）	市の職員が出席している部会の中で進行がストップした時や、地域で何か問題が起きた時は、会議終了後に直接お話をさせていただいている。部会によっては会議に出られていないところもあるので、それが課題になっているのかなと思った。	問題	体制	福間南	1
170	1	⑥その他（地域担当職員の関わり）	地域担当職員など管理職も含めて、2年くらいで異動してしまう。異動のペースが速くて長期の視点で対応できず、うまく引継ぎもできない状況になっている。異動のペースが速いため、今はできないので次に回すという判断がなされてしまう。速いペースで異動することは、民間ではあり得ないことで、担当者は少なくとも5年くらいはいる。	問題	体制	津屋崎	4
179	1	⑥その他（地域のネットワーク）	郷づくりと自治会、一般の団体や市民のかたとのつながりをどうしていくのかということになれば、面と向かって話をするのでしかなかくな伝えられず、SNSはほとんど期待できない。それから紙の広報もほとんど期待できないので、どのようにネットワークを作っていくのかが重要になる。	問題・展望（希望）	体制	宮司	1
180	1	⑥その他（女性参画）	協議会の役員になる際、女性を入れるために枠を増やしたような気がして、女性枠を設けないと女性が入れないのかと思うことがあった。協議会で活動してみて、女性は深く考えずにまずはやってみようということになるが、男性はまずは仕組みをつくろう、規約をつくろう、組織をつくろう、それからやろうというように、良い悪いは抜きにして女性と男性の考え方の違いがあると感じる。	問題・展望（希望）	体制	神興東	1
182	1	⑥その他（拠点の使い勝手）	交流センターを建てる際に調理室を希望したが、敷地面積や予算の関係で整備できないと言われた。水道施設としてトイレは整備されている。ただ、今の事務局の体制で調理室があったとしても、管理できないのではないと思う。事務局員には書類作成など様々な業務があり、そのような仕事をしながらの予約管理のため、明らかに交流センターが建つ前よりも業務が増えている。事務局員の業務量は増えているが、交付金の中の人件費は変わらないので、事務局員の負担は増えていると思う。	問題・要望（意見）	体制	神興東	2
191	1	⑥その他（郷づくりの役員）	基本的に部会長は自治会長さんをお願いしているが、本音を言えば自治会長さん以外の人になってほしい。その理由は、自治会長さんは自治会の会議などがあるし、協議会の会議もある中で、さらに部会長もとなると負担がかなり大きくなってしまう。	展望（希望）	体制	神興	1
192	1	⑤新しい取組の必要性	やってみたいことがある人と私たちが話をし、そのようなことは協議会でできますよと連携を図っていく場が必要なのではないかと考えている。パスカールの発表会に行ったかたの意見を聞いてそのように思った。	展望（希望）	体制	神興	1
194	1	⑥その他（市の関わり）	市の職員に関わってほしいが、市の職員ではなく、郷づくりの職員として関わってほしい。そうすれば、地域が考えていることが分かりやすくなるのではないかと。今は何かしようとする市役所に尋ねなければならず、権限が与えられていない。それを協議会の中でできるようにするためには、そのような人を配置する必要があると思う。	要望（意見）	体制	福間南	5

195	1	⑥その他（地域担当職員の関わり）	地域担当職員は協議会の会議に出席した時に議事録などは起こさないのかと思うことがある。1回の会議に5、6名来られるが、それにも関わらず津屋崎の問題点は報告されていないのか。そのために担当職員はいるのではないかと。担当職員からトップに挙げてもらえたら多少は変わるかもしれない。	要望（意見）	体制	津屋崎	3
196	1	⑥その他（地域担当職員の関わり）	地域担当職員の立ち位置をもっと明確にしてもらえれば、さらに良くなるのではないと思う。地域担当職員や研修職員は月に1回交代で松林の清掃にも参加してくれる。このように、取組みは良くなっているのので、さらに一歩先を進めてほしい。	要望（意見）	体制	津屋崎	4
207	1	③若い世代との交流（意見交換）	協議会として活動するという大きな柱があるが、いろいろな団体と連携して活動するというのも柱にしている。	事業説明	体制	福間	1
215	1	⑥その他（郷づくりの役員）	今、防災部会と福祉部会の部会長を自治会長さんをお願いしている。環境部会については、元自治会長のかたになっていただいている、子育て部会長については、一般のかたになっていただいている。自治会長さんに部会長をやっていただく場合の任期は1年である。	事業説明	体制	神興	1
244	1	⑥その他（地域担当職員の関わり）	地域担当職員の対応は、以前に比べて随分良くなったと思う。以前は出席しても発言は全くなかった。今はこちらから質問をすると回答があるし、説明の際、協議会が回答に窮していると部長級の職員がすぐにフォローをしてくれる。以前は全くそのようなことはなかった。発言を求めても「私たちはそのような立場ではない」ということだった。以前のような地域担当職員なら、いなくても構わないということになったのだが、最近は良くなった。	成果	体制	津屋崎	1
245	1	⑥その他（郷づくりの良い雰囲気）	歴代の協議会の会長に女性が2名いるが、女性が関わっていることも雰囲気が柔らかくなることに関係しているのかもしれない。女性はおしゃべりなので、議題から脇道にそれることもあるが、実はそこに大事なことが転がっていることもあったりする。	成果	体制	福間	1
248	1	⑥その他（郷づくりの良い雰囲気）	女性の役員がいれば、年配の男性も語気を強めることも憚られてきたのではないかとと思う。	成果	体制	福間	1
257	1	⑥その他（女性参画）	活動の参加者は女性が多いと思うが、女性がイニシアチブをとって活動するケースは少ないような気がする。	問題	体制・特徴	神興東	1

259	1	③若い世代との交流 (意見交換)	PTAや子ども会との連携はできていないのも問題点であると考えている。子ども会は「子ども会育成会連合会」という組織の中でつながっているの、そちらの方向を向いている。自治会の中でなら子ども会と話ができるかもしれないが、協議会には出てこない。これはシニアクラブも一緒に、シニアクラブ連合会という組織があるので、協議会の方を向いてこないというのが現状である。ここを是正していかなければならないと考えている。	問題・展望 (希望)	体制・特徴	津屋崎	1
265	2	⑨地域や活動上の困り ごと・課題	郷づくり役員のみ手がいけないので、自治会長が役員、部会長の一部を兼任しなければならないので多忙である。各自治会は、それぞれ地域性があり一番は自分の自治会、郷づくりから交付金が交付されるので仕方なく協力する。又、自治会長は18行政区の半分が1年任期である。引継ぎも上手くできていない。増加する高齢者により、各行政区も自治会の役員選考に苦慮している。独居高齢者が増加しているの、見守りなど継続的な支援が必要になってきている。共働き、ひとり親世帯が増え、少子化により育成会、子ども会がなくなっている。子どもを取り巻く問題が深刻化している。	問題	体制・自治会	神興	1
267	2	⑪その他(自由意見)	へ 市との意思疎通がうまくいっていないと思うので、職員を2.3日でいいので郷づくりの拠点に配置すべき。	要望(意見)	体制・市政	福間南	1
270	1	⑥その他(自治会との 連携)	自治会から協議会を頼っていただくこともあれば、協議会が自治会と一緒に課題解決に当たることもある。自治会長はそれぞれの自治会の中で道路や水路の修繕やカーブミラーなどの交通安全施設の設置が必要になった場合、市役所に要望書を提出して改善してもらうという手続きを取る。しかし、自治会長は1年で交代されるので書類の書き方に慣れていないため、依頼があれば書類作成のお手伝いをする。勝浦地域は市役所から遠いので、急ぎでなければ事務局で市への要望書をお預かりして、2週間に1回、市役所で8つの郷づくり推進協議会から事務局員が集まる事務局員会議があるので、その際に渡したり、郷づくり支援係の職員が来た時に渡したりしている。	事業説明	体制・活動	勝浦	1
274	1	⑥その他(女性参画)	機関紙の編集については女性のかたも多いので和気あいあいと活動しているし、内容も柔らかいものに変わってきているのではないかと思います。	事業説明・成果	体制・活動	神興東	1
276	1	⑥その他(自治会と協 議会の住み分け)	防災の取組みを進めていく上では、組織づくりが弱いと思う。市と協議会、自治会などいろいろな組織があるが、その組織づくりが非常に弱く、単発過ぎる。	問題	体制・活動・自治会	福間南	1
277	2	⑨地域や活動上の困り ごと・課題	自治会・子ども会・老人会等への加入の減少と脱会者の増加で、組織の活性化はもとより、存続の危機にある(既に子ども会の解散や連合会からの脱会等が顕著に表れている)。このことは、地域の活性化が図れず、地域住民相互の交流が減少し、絆が希薄となっていき、自治活動の衰退や防災活動等に支障をきたす。また、子どもの健全育成にも影響を与えかねない。今後はさらに地域力の低下を招き、福津市全体の弱体化につながるのではないかと危惧している。	問題	体制・活動・自治会	福間南	1

283	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	若い人に協議会について知ってもらう取組みは少ないような気がする。若い人との交流や意見交換会は、ほとんどできていない。	問題	活動	上西郷	1
305	1	⑥その他（独居高齢者を対象にした取組）	その辺りのことは地域性もあってなかなか難しいということと、個人情報のことがどうしてもあって踏み込めないこともある。個人情報と言うことで市からの情報も全く入ってこない。民生委員さんと連携していても守秘義務があって、難しいのが実情である。	問題	活動	神興	1
306	1	⑥その他（独居高齢者を対象にした取組）	今は転出転入の情報も自治会長には入ってこないもので、誰が出て行って、誰が入ってきたのかも分からない。近くの組長が、新しく引越して来られたかたがいることに気付いて、初めて自治会長も気付くという状況である。市も個人情報にがんじがらめになっていて、情報が地域に入らなくて取組みが進められない。	問題	活動	神興	1
308	1	⑥その他（郷づく地域の特徴）	郷づくりの中でも「デマンドバスを運行してはどうか」といったアイデアが出ているが、具体化はできていない。とにかくお年寄りの生活が不便になっているのは間違いない。	問題	活動	勝浦	1
329	1	⑥その他（郷づくりの良い雰囲気）	かつては自治会間の対抗意識が強かった。運動会でも自治会対抗の競技は盛り上がった。それもたまにはいいけれど、どの自治会もお互いに仲良くしていこうよ、それがいくつも集まれば地域の中で「向こう三軒両隣」ができる。そして今度は「福間」と「宮司」、「福間」と「福間南」というように、郷づくり地域同士でも「向こう三軒両隣」を広げていけば全ての郷づくり地域で仲良くできるのではないかと思った。	展望（希望）	活動	福間	1
334	1	③若い世代との交流（意見交換）	若い子育て世代の保護者とは交流できていないのが実情である。ここ3年はコロナ禍の影響で交流事業ができなかったのが現状である。今後は小中学校のPTAや保護者との連携や交流を進めていく必要があると思っている。特に神興では中学生との交流を深めたいと思っている。	展望（希望）	活動	神興	1
348	1	⑥その他（郷づくり地域以外の人との関わり）	勝浦小学校で子どもから大人までいろいろな世代の人が話をする「トークフォークダンス」という活動をしている。勝浦の良さを対外的にPRするにはどのようにしていけばよいかということ話し合ったことがあった。その時、自分たちも勝浦にはたくさん良いところがあるのでそれを知らなかったのも、それをどう発信していけばいいのか一緒に考えていきたいということになった。そのためにはSNSや広報紙などの意見が出ていたが、対外的に勝浦の良さを発信していく時に、外部との連携は必要になっていくと思うし、お知恵を頂戴したい。	要望（意見）	活動	勝浦	1

379	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	広報紙には小中学校の情報、特に小学校は下校時間を載せている。これは、地域のかたに下校時の見守りや「この時間帯に子どもが通る」ということを知ってもらって防犯にもつながるように学校と連携して掲載している。その他、広報には部会活動や自治会活動の紹介、イベントなどを載せている。	事業説明	活動	福間	1
393	1	③若い世代との交流(意見交換)	若い人との交流については安全安心部会がHUGをいろいろな場所に出向いて行っている。自治会でも組長を中心にHUGを実施してもらったが、その中には30～40代の参加者も多く、安全安心部会が防災の取組みについて話をする中で、いろいろな意見が交わされた。	事業説明	活動	福間	1
425	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	今年度の3月5日に子育て部会で「神興KIZUNAランチ」という行事をする。これは園児から小学生を対象にしていて、昼食を食べながらニュースポーツを楽しもうというものである。このイベントの実施に向けて様々なことを計画しているところである。これも地域へのPRになるのではないかといい、取組みを進めている。	事業説明	活動	神興	1
460	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	ホームページも頑張って更新している。まちづくり推進室に閲覧数を出していただいた時は8つの郷づくりの中では一番多かったのが、これからも頑張ろうと思っている。若い人はなかなか紙ベースを見ないので、環境景観部会や子育て支援部会のプレーパークに関してはフェイスブックやインスタグラムで開催状況などを発信していて、その情報をホームページにも載せている。	事業説明・成果	活動	福間	1
490	1	⑥その他(将来の郷づくり)	今後協議会で汗をかいていきたいと思っていることに敬老会や盆踊りがある。これらは自治会ごとに行われることが一般的だと思うが、郷づくり単位で集約して勝浦地域全体として事業ができれば自治会の負担軽減にもつながるのではないかと考えている。例えば敬老事業を勝浦小学校の体育館で実施できるのではないだろうか。実際、津屋崎総区でも津屋崎中学校の体育館で敬老事業を行っているの、そのような形で勝浦郷づくりでも実施できたらと考えている。盆踊りも勝浦地域の夏祭りのような形で実施できたらと考えている。宗像市のコミュニティでも地域単位で実施しているところがあるので、地域単位で夏祭りを実施して最後に総踊りという形で盆踊りを実施することで、自治会の負担も減るのではないかといい。その代わりに各自治会から補助として入っていただきたいと思っている。	展望(希望)	活動・自治会	勝浦	1
493	1	⑥その他(郷づくり制度)	自治会が基盤の郷づくりとあるが、関東から帰ってきた時「これは自治会の仕事なのか」と思ったことがある。防犯灯の電気代、ごみの分別収集など他のところは市がやっていることを自治会がやっていることがある。過去の経緯もあると思うのだが、まちづくりと郷づくりの境目がよく分からない時がある。	問題	市政	津屋崎	1
496	1	⑥その他(市政)	「こうしてください」ではなくて、10年間でこのような目標があるので1年1年、市としてはこのような段階を踏んでいきたいので企画を考える場面に市だけではなくボランティアや防災に関わっている人たちを呼んで一緒に考えていき、企画を降ろしていく、皆で練っていくということができれば良いのではないかといい。	展望(希望)	市政	福間南	2

497	1	⑥その他（共働推進会議）	協議会の中身を理解していただいた上で、より掘り下げた内容について意見交換すればいいのではないだろうか。もう一回このような場ができるのかは難しいけれども、まずは基本的なことからお話していくしかないのではないだろうか。現実的にはこのようなことを積み重ねていくしかないと思う。	展望（希望）	市政	津屋崎	1
506	1	⑥その他（郷づくり制度）	市役所が面倒だと思っていることを協議会にさせていないかとも思っている。市役所がしにくいことを協議会にさせて、間にクッションを置いているようにも感じられる。	要望（意見）	市政	上西郷	2
507	1	⑥その他（防災について）	組織の中で防災について考える時「地域防災計画を作ろう」という市の働きかけがあっても、それをどうやって活用していくという考え方がない。それを活用することによって、組織が力を出すのだが、それがぶつと切れているから全市一斉防災訓練で何をすればいいか聞くと「自主的に考えてください」と言われる。	要望（意見）	市政	福間南	1
509	1	⑥その他（市政）	まずは組織として必要と思われることはどんどんやってみて、1年、2年経ったら考え直さなければならないことも出てくるかもしれないが、挑戦的なことを行うビジョンを具体的に作っていくと良いのではないかと思う。	要望（意見）	市政	福間南	1
510	1	⑥その他（防災に関する計画・市政）	一斉防災訓練の時に市からマニュアルが出てきて、それに基づいて実施をするわけだが、結果について市は何軒家の前にタオルが掛けてあったと集計するだけである。集計をふまえて、それからどうするのか、どうしたいのかというのがない。それが他の分野についても多々見られる。そういったものは協議会の意見とすり合わせた上で、数字に対してどうあるべきか、市はどうしたらいいのか、協議会はどうしたらいいのかということを議論する必要があるのではないかと思う。	要望（意見）	市政	福間南	1
511	1	⑥その他（郷づくり制度）	市の業務の下請けのように感じることもある。本来、市がやるべきことを協議会にさせているようなことも出てきているので、それは違うのではないかと思う。お互いに協力するのであれば市への協力を全くしないわけではないが、やってもらうことが当たり前ようになってはいけないと思う。それがだんだん増えているように感じる。	要望（意見）	市政	福間南	3
512	1	⑥その他（市の関わり）	コロナ禍に入った最初の年にセンターを開けるか市に問い合わせたところ「県から指示が来ていないので、判断できない」との答えだったので、福間南は閉館するという判断をした。市は県がどうこうではなくて、もう少し「市はこうしたい」ということを出さないといけないのではないか。安全確保のために、市として拠点を閉館するというを示さずに「協議会で判断してほしい」となると、非常に難しい。	要望（意見）	市政	福間南	1

513	1	⑥その他（市の関わり）	防災関係の話の中で出るのが、もう少し個人情報を出してほしいという要望である。市に相談しても「個人情報を出すことはできない」と全く情報を出さない。震災で被災した真備町には地域の名簿があり、何かあったらその名簿に基づいて、声を掛けに行きすぐに避難するという仕組みがある。住民の名簿は災害時に大切な情報になるので、命とプライバシーの侵害とどちらが大切なのかということになる。防災に関する個人情報は極秘だけれども自治会長に渡すなどがあるのもいいのではないかと。極端な言い方だが、個人情報を出さないということであれば、災害時は自分の力だけで命を守ってくださいということになるが、それでもいいのかということにもなる。そういう観点からは市も人の命を守っていないことになるのではないと思う。	要望（意見）	市政	福間南	2
514	1	⑥その他（市の関わり）	協議会や自治会もそうだが、どうしていいかわからない中でどう解決していこうか悩んでいるのだが、これを解決するためにはもっと議論があってもいいのではないと思う。	要望（意見）	市政	福間南	1
516	1	⑥その他（市の関わり）	市が地域にやらせたいことと、地域がやりたいと思うことはかなりの部分が重なると思う。それを市がやらせたいと感じさせないようなうまいやり方があるのではないかと。そのために対話が必要だと思う。	要望（意見）	市政	福間南	3
517	1	⑥その他（市の関わり）	この前の代表者会議の時に、まちづくり推進室の郷づくり支援係の職員数がだんだん減っていると聞いた。郷づくりは自立できていると市長が感じているのかもしれないが、何も変わっていないのではないかと感じている。	要望（意見）	市政	福間南	1
520	2	⑩共働推進会議に期待すること	自治会・子ども育成会・老人会の加入・脱会阻止の何らかの方策を至急講じて欲しい。この件については、単に郷づくりの問題ではなく、今後の市政の活性化に大きな影響を与えることが予測される。	要望（意見）	市政	福間南	1
522	2	⑪その他（自由意見）	ホ 郷づくり推進協議会の立ち位置をはっきりさせるには、各自治会、各郷づくり、市でお互いの思いをぶつけあわなければ前に進まない。まずは、郷づくり(数人と?)、市の南郷づくりの担当者として今後の方針を打ち合わせをし、地域に則した問題解決をクリアしていき、お互いの立ち位置を明確にして行ければと思います。会話が必要(時間がかかる作業だとは思いますが)。	要望（意見）	市政	福間南	3
523	1	⑥その他（共働推進会議）	本来であれば市が郷づくりに関するビジョンとゴールを示すべきであり、この審議会が終わった後に、何が生まれることを目的に設置されているかを会長が理解されたうえで進められているのか質問させていただきたい。せっかく多くの審議委員に集まっていたので、厳しい意見は出させてもらってもいいのではないかと、いい方向にいていただきたい。	要望（意見）	市政	津屋崎	1

529	1	⑥その他（郷づくり制度）	郷づくりの課題や問題点についてはずっと前から出ていて、市ともこのような場を持つことはあるが、いつまででどのようなことをするという話が市から全くなく、言いつばなしになっている。民間であれば、あるテーマがあれば何月何日までにするという話が出てくるが、市には全くそれがない。まずはそのようなところを市にきちっとしてもらいたい。ぜひ話し合いが終わった後は、課題解決について具体化してほしい。そうでなければ私たちが共働推進会議で何をしているか見えない。	要望（意見）	市政	津屋崎	2
530	1	⑥その他（郷づくり制度）	本日お話ししている問題以外にもアンケートにたくさんの方が回答があったと思う。あれだけ課題があるのに、まだこれの繰り返しなのかということになる。このような課題があるからいつまでに予算措置をしていつまでに終わるということを明記してもらえれば、みんな多少安心できる。それをぜひお願いしたい。	要望（意見）	市政	津屋崎	1
535	1	⑥その他（市政）	協議会が市に使われていることがある。拠点の場所の変更もそうである。協議会では津屋崎千軒ごみの指定管理を協議会が受け、館長を中心に一生懸命3年間運営してきたが、3年間で打ち切られてしまった。地域担当職員も会議の場に来ているのに、市として地域担当職員の役割を伝えていなかったりビジョンがなかったりするのと、地域の現状や課題を市内部に報告していないのではないか。このように市は協議会に自由にしたいと言いつつ、結局放置になっている。行政センターの存続について、市役所の中では議論されたのかもしれないが、協議会としては市から話が来ただけで、議論ができたわけではない。市と協議会で議論をしたことはなく、住民にも知らされていない。行政センター廃止の話が出た時はびっくりしたし、市民に話が知らされていないということは由々しき事態だと思う。	要望（意見）	市政	津屋崎	1
541	1	⑥その他（行政への要望）	全体的な郷づくりの会長と市との協議の場は何か月に1回行われているのだが、このような形の各郷づくり単位で行政との懇談会のような機会を持っていただけるとありがたい。その時その時でいろいろな問題が出てきて、個別の担当課に相談に行くことはたくさんあるが、委員さんたちが持っている声を直接聞いていただく場をぜひ郷づくり単位で年に何回かしていただけるとありがたい。	要望（意見）	市政	宮司	2
543	1	⑥その他（市からの情報提供）	高齢者に関わる様々な情報は知りたいと思う。自治会長さんもそうだと思う。	要望（意見）	市政	神興	1
545	1	⑥その他（行政への要望）	共働推進会議というよりも一つの組織の見直しということであれば、進め方から検討してほしい。今回の答申を作成する過程においては少し瑕疵があったのではないかと考えている。これまで8つの地域を回られたと思うが、活動の内容についてはどこの地域もそれぞれの特色を生かしながら活動を進めているので、それはそれで良いと思っているのだが、問題はその活動を担っていく人が不足している、担い手の高齢化が進んでいる、固定化している、後が続かないという人の問題がどこも共通している。これらは大きな問題であり、人の問題を解決していかないと、郷づくりは継続できないし、充実しないし、どんどん活動が下火になっていくと懸念している。	要望（意見）	市政	勝浦	3

546	1	⑥その他（市への要望）	事務局側が各協議会にこのように基本構想に掲げてあるような目標や課題解決に関わるヒントがあるということに気付いてほしい。そして市で予算を確保し、各地域で横展開ができるようにしてほしい。例えば、カレンダーを作るのであれば、それぞれの協議会で地域のPRをする写真を集めてほしい、それを印刷する予算は市の方で持つといったように、市がもう一皮剥けた取組みを進めていく必要があるということをご提案したい。	要望（意見）	市政	勝浦	1
549	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	新しく地域に入ってきた人は自治会への加入が少ない。そのため、自治会が昔から上西郷に住んでいる人で構成されてしまうので、どうしても高齢化してしまう。	問題	自治会	上西郷	1
551	1	⑥その他（郷づくり活動）	役員が回ってくるということで自治会を脱会する人もいます。	問題	自治会	上西郷	2
555	1	⑥その他（自治会加入促進）	不動産会社によっては自治会には加入しないことを打ち出しているところもある。そのような会社があると次々と他の不動産会社も自治会を脱退してしまうので、それだけはやはり阻止しないとけないと思う。そのようなことによって自治会加入者が減って、活動が活発化しないということにつながってしまう。	問題	自治会	宮司	1
573	1	②広報活動・若い人対象のPR活動	市は自治会に入っていない人の声を聞きすぎる。かつて自治会で広報紙を配っていた時に、自治会未加入者から「なぜ配布されないのか」という声があったため、現在はポスティングになっている。広報のポスティングにかかっている費用も結構なものではないだろうか。その辺りの問題が解決しない限り、郷づくりを広めていくのは難しい。	問題	自治会・市政	上西郷	1
575	1	⑥その他（自治会加入促進）	自治会関係者がいきなり自治会加入の案内に行くと警戒されてしまう。その時に市の資料（チラシ）を持っていくと自治会の人ということが分かってもらえるので、あとは説明で何とかするということができる。（市が作成した）加入促進資料（チラシ）はもらえる枚数が少ないので、300枚くらいもらえるとありがたいと思う。	要望（意見）	自治会・市政	宮司	2
687	1	⑤新しい取組の必要性	住民は自治会のことは知っているが、郷づくりについてはほとんど知らない。それを解決するためには、やっていることなどを積極的に周知する必要があると思うし、そのためにはもっと市が関与してもいいと思う。	問題・要望（意見）	認知	神興東	1

697	1	⑤新しい取組の必要性	郷づくりの取組に関する良い事例やノウハウがあればどんどん発信してほしい。そうすれば自治会も郷づくりについて理解が進んでいくのではないかな。	要望（意見）	認知	神興東	2
710	1	⑤新しい取組の必要性	郷づくりとは何なのかという核心的なところが分からない。	問題	理念	神興東	1
717	1	⑥その他（郷づくりのビジョン）	市の全体の方針を示すビジョンはあるが、具体的に100%のビジョンの中で地域が何%背負ってどのようにやっていくのかということが具体的に地域に降りてきていないと思う。	問題	理念	福間南	1
718	1	⑥その他（郷づくりのビジョン）	おそらく総合計画があって、例えば郷づくりの計画のように分野別計画を立てて、そこで実施をして、その中の成果が総合計画に入ってくるような形なのではないか。総合計画と分野別計画の関連性を住民が理解できていないと思う。	問題	理念	福間南	1
720	1	⑤新しい取組の必要性	金銭面でいくと、宮司コミュニティセンターの指定管理を受けていて、利用者も増えていて、それなりに収益が出る状況になりつつあるのだが、これが果たして郷づくりに還元されているかと言えばなかなか難しいところがある。一生懸命頑張って、コミュニティセンターを使ってもらっているのに、それが郷づくりに返ってこないということがあるので、頑張った分では何かやれるような形を研究していけば、金銭的な面にも貢献できるのではないかなと思う。	問題	理念	宮司	1
723	1	⑥その他（郷づくり活動）	地域のかたには私たちに教えてくださいと竹灯の作り方を習って、竹灯を使って娘さんの結婚式を挙げられたかたもいらっしゃる。そのようなケースもあるので、イベント事業や販売事業をすると活性化もするし、利益に結び付くなら活動もしやすくなって最高だよと話している。ただし、市役所が（収益を上げることについて）なかなか踏み切れないという状況である。	問題	理念	神興	1
725	1	⑥その他（行政上の壁）	活動する中で常に出てくるのは「自分たちで稼げたら良いのにね」ということである。それが皆の合言葉のように出てきて、稼ぐ方法が次から次にアイデアとして出てくるのだが、実現できないというもどかしくて仕方がない思いがある。	問題	理念	神興	1
726	2	⑪その他（自由意見）	各郷づくりの活動に対して評価や検証の仕組みがないため、地域にとってさほど重要とは思われない活動が長年続いたり、本来必要な活動に気づけていないことが起きている。これが出る仕組みや役員の学びの場が必要。	問題・展望（希望）	理念	神興東	2

731	1	⑥その他（郷づくり制度）	専門的な人材を事務局的に入れて、より専門性の高い人たちが主体性を持って地域の要求に応じていくような仕組みを作っていくといいのではないか。人をどうやって育てていくかということが重要だと思う。共働推進会議からそのような提言をしていただけるといいのではないかな。	展望（希望）	理念	福間南	1
733	1	⑥その他（郷づくりの役割）	冒頭から郷づくりとはどういうものかということで住民のかたになかなか理解されていないというお話があったが、私の持論からすると郷づくりは前面に立つ必要はないと思っている。あくまでも地域自治の末端にいるのは自治会であり、自治会がうまく機能するように支えるのが郷づくりであり、住民からすると郷づくりが何なのか分からなくても構わない。自治会とはこのようなものであるということを理解していただければ、自治会の加入率も上がると思う。自治会に入らないというのは「何かやらされるのではないかな」「何か役割が回ってくるのではないかな」という不安があると思うので、そのような不安を少しでもなくすのが郷づくりの役割で、イベントをやったりするということになるのではないかな。そのようなことで住民を含めての情報交換が重要なのではないかなと考えている。	展望（希望）	理念	宮司	1
737	1	⑥その他（郷づくり制度）	ビジョンを決めるという話について「あまり市が決めすぎてしまうとやらされ感が出てしまう」ということだが、そのことを変えてほしいということではなく、市が郷づくりの設置目的についてどう考えているのか、どのような共通認識を持っているのかどうかということが大事である。	要望（意見）	理念	津屋崎	2
741	1	⑥その他（共働推進会議）	「自治会が基盤の郷づくりだが、自治会との交流や連携はどのようにやっているか」という質問があるが、既に自治会と協議会が分裂しているような前提になっていて矛盾を感じてしまう。私たちはどのように考え答えたらいいかわからない。	要望（意見）	理念	津屋崎	1
742	1	⑥その他（共働推進会議）	市は「自治会が基盤だ」と定義していると思うが、その後自治会との交流はどうしているのかという質問が来ると、何が聞きたいのかと思う。自治会は郷づくりの基盤としながらも、自治会と協議会は分かれて活動しているという考え方が根本にあるのではないかなと思う。そのあたりの定義もしっかり市で決めてもらわないと、私たちも自治会を誘いづらくなる。自治会を誘っても「また仕事を増やすのか」ということになってしまう。	要望（意見）	理念	津屋崎	1
744	1	⑥その他（地域担当職員の関わり）	地域担当職員も年々経験値などが上がって変わっていくと思うし、まちづくり推進室の職員も「おまつりばやし」に1日中関わって活躍してくれた。「担当職員」ではなく「担当職員に」何を指示するのか、市から指示が出ているのかということが大切なのではないかな。	要望（意見）	理念	津屋崎	1
747	1	⑥その他（協議会活動）	協議会活動の内容も一律である必要はないのではないかな。勝浦では高齢者の交通手段の確保が非常に大きな問題になっているので、勝浦の活動はそれに特化しようということがあっても良いと考えるし、協議会によっては子育て支援に特化するなど、取り組むことも地域課題に応じた重点施策のようなものに特化していないと、どこも一律で同じことをしても難しいのではないだろうか。	要望（意見）	理念	勝浦	1

749	2	⑩その他（自由意見）	<p>現在の「郷づくり基本構想」は、平成28年度に庁内で骨子検討会議、素案検討会議を重ね、平成29年度に各郷づくり代表者及び地域担当責任者からなる「策定会議」にて検討を重ねて平成30年3月に作成された。</p> <p>その後、平成30年度に「郷づくり基本構想」に基づき地域住民が主体となって策定する行動計画として各郷づくりの「郷づくり計画」が策定され、現在、各地域では「郷づくり計画」に従い種々の活動に取り組んでいる。</p> <p>さらに、「郷づくり基本構想」は第2次福津市総合計画の計画期間に合わせて作成した分野別計画であり、計画期間の間は大きな方向性は変えるべきではないと考える。</p> <p>むしろ、見直すとするならば「4. 将来像を実現するために取り組む施策」において掲げた「市の支援策」を検証し、掲げた事項の進捗状況や変化する社会情勢から見て新たに追加すべき支援策や削除すべき支援策などはないかとの見直しが必要ではないだろうか。</p>	要望（意見）	理念	勝浦	1
763	1	⑥その他（自治会から見た郷づくり）	<p>「郷づくり推進協議会」だと、地域とは関係ないように感じてしまう。地域と一緒にということであれば「地域連合会」など名前を変えることも方法のひとつなのではないか。</p>	問題	理念・認知	神興東	1
766	1	⑥その他（認知度向上の取組み上の課題や苦労）	<p>「郷づくりとは何か」という疑問を持っているかたは結構いらっしゃる。「郷づくり」が「コミュニティ推進協議会」というネーミングであれば、地域の集まりとすることが理解しやすいと思う。自治会の連合体としての郷づくりという認識が10年以上経っているのになかなか進まないというのは、郷づくり推進協議会というネーミングが斬新すぎるというのがあるのではないかと考えている。</p>	問題	理念・認知	宮司	1